

政策シート

(政策名) 自分らしさを大切にする子どもの育成

(予算費目名) 市立高校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない、選ばれる学校を目指す。

- ・文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスの取れた人間を育成する。
- ・基礎的学力を十分に備え、自ら考え、行動できる人間を育成する。
- ・グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育							
-----	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	122,062	28,151				
決算						
人件費(A)	545,300	563,300				
報酬(B)	5,678	9,619				
年間経費(予算又は決算+A+B)	550,978	601,070				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
国公立大学合格者数	人	目標	150	150	150	150	150	150
		実績	181					
全国大会出場部活動数	部	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を具現化。日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない、選ばれる学校を目指す。

- ・文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスの取れた人間を育成する。
- ・基礎的学力を十分に備え、自ら考え、行動できる人間を育成する。
- ・グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
------	------

- ・校訓「誠・愛・節」の精神に基づき、自立的人格の育成と、規律と責任のある生活態度を養っている。
- ・高い学習意欲、幅広い教養、論理的思考力などを有した市立生を育成している。
- ・生徒会活動、学級活動、行事などの特別活動や部活動を通じて人間性を高める指導を行っている。
- ・安心安全な教育環境を整備している。
- ・教職員の努力、生徒の積極的な活動により、令和元年度は、国公立大学合格者数及び全国大会出場部活動数は概ね目標を達成しており、十分な取組みがなされている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	市立高校教育事業				○	554,914	17,695	75.0		1.0		9,619
2	市立高校管理運営経費				○	46,156	10,456	3.5			4.0	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						601,070	28,151	78.5		1.0	4.0	9,619

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 市立高校教育事業

◇事業目的・事業対象

・「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない、選ばれる学校を目指す。
 ・日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない「選ばれる学校」を目指す。

◇事業の概要

・規律、責任、品位ある生活態度の定着
 ・学力の保証
 ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
 ・キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現
 ・安心・安全な教育環境の整備
 ・家庭・地域等との連携
 ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計			—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	18,438	17,695				
	決算						
	国・県支出	387	698				
	市債						
	その他	102					
	一般財源	15,947	16,997				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)		5,468	9,619				
人件費 (千円)		511,000	527,600				
人工	正規	70.0	75.0				
	再任用(h31)	2.0					
	再任用(h26)	1.0	1.0				
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
国公立大学合格者数					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	150	150	150	150	150	150	150
実績値	170	181					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
全国大会出場部活動数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10	10	10	10	10	10	10
実績値	13	13					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・規律、責任、品位ある生活態度の定着
- ・学力の保証
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
- ・キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現
- ・安心安全な教育環境の整備
- ・家庭・地域等の連携
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・全人教育を標榜し、勉強のみならず部活動や学校行事を教育の大きな柱に据え、生徒には、それらすべてに一生懸命に取り組み、そのプロセスの中で、人間として必要なことを学び、社会に通用する人間力を高めている。
- ・多くの生徒が勉強と部活動の両立をしており、運動部、文化部の全国大会出場の実績を残している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・キャリア教育を推進し、生徒が将来的に社会に適応していくための力を身につけさせる。
- ・模試の結果等を時系列に分析し、次の成果に結びつくよう活用し、それぞれの生徒にとって最高の進路目標を達成する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市立高等学校の教育事業運営経費として、現状程度の事業規模が必要である。

事業シート (事業名) 市立高校管理運営経費

◇事業目的・事業対象

市立高等学校の管理・運営に必要となる光熱水費、維持管理等経費を有効かつ効率的に執行する。
これまでに設置したコンピュータ機器等の維持運用管理を行う。

◇事業の概要

・市立高等学校を管理・運営していくため、職員、生徒に要する経費及び施設を維持していくための管理や補修費に関する事務を行う。
・コンピュータ機器等の維持運用管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
—	—	一般会計			—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	103,624	10,456				
	決算						
	国・県支出	105					
	市債						
	その他	1,329	1,095				
一般財源		99,075	99,361				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)		210					
人件費 (千円)		34,300	35,700				
人工	正規	3.7	3.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	4.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.1	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市立高等学校を管理・運営していくため、職員、生徒に要する経費及び施設を維持していくための管理や補修費に関する事務を行う。
- ・コンピュータ機器等の維持運用管理を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

市立高等学校の管理運営に必要な光熱水費、施設を維持していくための管理や補修費、消耗品の購入などを執行した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設設備の修繕箇所が増大に伴い、予算流用を行い、緊急を要する箇所の修繕を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

経年劣化による施設設備修繕が頻繁になっており事業費確保が必要である。

政策シート (政策名) 自分らしさを大切にする子どもの育成

(予算費目名) 市立高校建設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

学校施設設備整備事業の実施
全面建替以降26年を経過し、補修・改修を要する設備、箇所が増えているなか、緊急性と重要性を勘案し、適時に整備事業を実施する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	40,625	106,556				
決算	41,232					
人件費(A)	2,100	3,500				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	43,332	110,056				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

学校施設設備整備事業の実施
全面建替以降26年を経過し、補修・改修を要する設備、箇所が増えているなか、緊急性と重要性を勘案し、適時に整備事業を実施した。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
受変電設備(主・副)更新、講堂舞台機構吊物昇降装置リミットスイッチ取替、校内自主テレビ放送デジタル対応改修などを行ったことにより、使用環境が以前より大変良くなっているなど、改善の効果が現れているが、まだまだ学校施設設備の整備、充実を図る必要がある。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学校施設整備事業				○	110,056	106,556	0.5			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						110,056	106,556	0.5			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 学校施設整備事業

◇事業目的・事業対象

夢と希望を与え、健康で文化的な教育環境を提供するため計画的に学校施設整備の整備、充実を図る。

◇事業の概要

計画的に学校施設整備を整備する
 ・講堂舞台照明設備更新
 ・緊急対応修繕

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計			-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	40,625	106,556				
	決算	41,232					
	国・県支出						
	市債						
	その他		100,000				
	一般財源 一般会計繰入金	41,232	6,556				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,100	3,500				
人工	正規	0.3	0.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.1	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

包摂的かつ公正な質の高い教育を確保するため、生徒が安心、安全に学校生活を送ることができるとともに、夢と希望を与え、健康で文化的な教育環境を提供するため計画的に学校施設整備の整備、充実を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・受変電設備(主・副)更新
- ・講堂舞台機構吊物昇降装置リミットスイッチ更新
- ・校内自主テレビ放送デジタル対応改修
- ・緊急対応修繕工事

・事業の成果と課題

指標の達成度

不明

- ・学校施設設備の整備、修繕を行い、教育環境の改善、充実を図った。
- ・経年劣化している学校施設整備の更新が十分でない。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・施設の適正な維持管理を行う事業であり、整備、維持補修を行うことによって適正な財産管理と学校環境整備の充実を図るため、十分な予算確保が必要である。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市立高等学校が平成3年から5年にかけて建設され、経年劣化による改修が必要不可欠であり、今後も、改修計画に基づき事業費確保が必要である。